

クリスマスにサンタがやってきた!

12/24

川根本町商工会青年部が保育園に笑顔のプレゼント

商工会青年部は、地域子どもたちに笑顔を届けようとクリスマス事業を行いました。

令和7年12月24日に桜保育園、25日に徳山聖母保育園と三ツ星保育園を訪問。青年部員がサンタクロースの衣装でお菓子を配ると、園児から元気な歌やダンスのお礼がありました。園児からは「どこから来たの?」といった質問も出るなど、終始和やかで笑顔あふれる交流の時間になりました。

青年部にとっても心に残るひとときとなり、地域とのつながりを感じる貴重な時間でした。



桜保育園の様子。サンタと一緒にダンス!

チーム一丸となって挑んだ東海大会

12/21

三ツ星学園弓道部 東海地区中学生弓道選手権大会男子団体戦で準優勝

10月に行われた県中学生弓道新人大会男子団体の部で準優勝した三ツ星学園弓道部は、12月21日に愛知県で行われた東海地区中学生弓道選手権大会男子団体戦に出場し、見事に準優勝を収めました。

練習では町弓道協会やボランティアの方が指導にあたっており、技術向上のための環境が整っています。

団体戦に出場した露木陽崇さんは「東海大会で準優勝できてうれしい。全国大会出場を目指して、今後はさらに練習を頑張りたい」と意気込みを述べました。

弓道部の皆さん、おめでとうございます!



練習風景

左から鈴木陽斗さん、鈴木涼太さん、露木陽崇さん、佐藤羽優さん

エコティ日記

10年間の感謝を込めて

2016年4月1日、一般社団法人エコティかわねが誕生しました。3月末でちょうど10年になります。その前身のエコツーリズムネットワークが設立された2008年から数えると、18年もの歳月が流れたこととなります。

エコティかわねの名前はエコツーリズムに由来しています。エコツーリズムは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組みです。

私たちはエコツーリズムの理念のもと、会員一人一人が自分の得意を生かし、川根本町のファンを増やそうと活動してきました。町外のお客さまだけでなく、町民の皆さまがもっとも地元を知り、愛着と誇りを持てるように、町民向けのプログラムもたくさん開催してきました。おかげ様でこの10年、さまざまな方がエコティかわねに関わり、応援してくださいました。

そしてこの10年の区切りをもって、エコティかわねは解散することになりました。残念ではありますが、川根本町のエコツーリズム推進がストップするわけではありません。事業と人材は、まちづくり観光協会に引き継ぎいでいきます。町民の皆さまには、引き続き関心をお寄せいただくと幸いです。

この10年間の感謝の気持ちを込めて、3月22日(日)に「エコティかわねサクスフェス」を開催します。

エコティかわね サクスフェス

日時: 3月22日(日)
午前10時~午後3時まで

場所: 旧中川根第一小学校体育館(川根本町徳山100)ほか
入場無料、申し込み不要

体験: 里山いやし散歩、野鳥観察、昆虫観察、羊毛フェルト、マッサージ、骨盤矯正ほか多数

食事: イノシシ鍋、おにぎり、ごま団子、大根そば、ピザ、お弁当、お菓子など

詳しくはこちら→
(エコティかわねホームページ)



(一社)エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎: 0547(58)7000
FAX: 0547(58)7001
Eメール: ecotkawane@gmail.com



会員一同、さまざまなプログラムや食べ物を
用意して皆さんをお待ちしています!



第3号

0歳から18歳までの 継ぎ目のない共育を実現させよう!

今回は「子どもを信じて任せる」シームレスな共育で大切にしたい教師の姿勢について、義務教育学校での授業を例にお伝えしました。今回は保育園と義務教育学校、義務教育学校と高校の接続という視点から「シームレスな共育」について考えます。

「小1ギャップ」がないシームレスな共育



1990年代後半から2000年代初頭にかけて「小1ギャップ」が社会問題化しました。小1ギャップとは、小学校に入学した直後に起こる心身や生活習慣、学習面での変化・戸惑いを指す言葉です。

令和7年2月、静岡県教育委員会の石川幼児教育推進室長を招き、「なぜシームレスな共育が必要なのか」を学びました。勉強会には保育園・義務教育学校・川根高校の先生方や、地域の皆さまに参加いただきました。一人一人の見取りを大切に幼児教育を義務教育学校、高校へと繋ぐことの大切さを実感できました。

22世紀を生きる子どもたちに必要な学び



人生100年時代と言われ、今の子どもたちは確実に22世紀を生きるようになります。22世紀は、誰にも分からない不確実な時代だと言われています。

12月22日、前さいたま市教育長の細田眞由美氏を招き「不確実な時代を生きる子どもたちに必要な学びとは何か?」という問いについて考える会を開催しました。参加した全ての方は20世紀の学びで育った人たちで、学ぶことと働くことが明確に分かれた時代でした。でもこれからはそこもシームレスになります。そのような世界で迷うことなく幸せに生きる子どもたちの姿を想像することから始めたいと思いました。

川根本町教育委員会 教育長 石原一則

ご意見ご感想をお聞かせください。
E-mail: k-ishihara@town.kawanehon.lg.jp